全体事業内容 (主な工種)       歩道設置工 L=180m (主な工種)       300,000       180,000       108,000       12,00         事度事業内容 (主な工種)       自歩道橋詳細設計 1式       0       0       0       0         事業 (定量的・定性的)       歩道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される       (定量的・定性的)       運急輸送路、バス路線の整備 通行車両の交通事故抑制       (可規定自動事交通量:17,900合/日 (可規定自動事交通量:17,900合/日 (可規定自動事を通量:17,900合/日 (可規定自動事を通量:17,900合/日 (可規定自動事を通量:現況交通量(歩行者・自転車)股島橋564人/12h       (本)       (本)         企業       ○財政自転車歩行者交通量:現況交通量(歩行者・自転車)股島橋564人/12h       (本)       (本)       (本)         企業       ○野漁輸送道路の路線指定:果緊急輸送道路(1次)に指定       (本)       (本)       (本)         企業       ○野漁輸送道路(1次)に指定       (本)       (本)       (本)       (本)         企業       ○財産の交通事故件数: 1件 (可能のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	(様:	<b>t</b> 2)	新規評価	晒シート						建記	设部	道路管	管理課
事 平成18年7月書雨で報災した股島橋の倒け被き事業を平成18年~平泉21年度にかけて実施した。新設島精が上流に倒け終うされたが、国前183号の場面が進かなど、中の選手・通動時間では、国道183号を放び機性的な当該箇所での洗湯線和の一即として180分に表更が強い。  しあわせ信仰倒造プラン 「こおける位置行け 新な母 24 県民生活の安全経保 不多章 2-2 快速である近れ・事業を	事業名			交通安全施設等整備事業				路河川名等 (国)153号			53号		
東自の地域を持ちれたが、国道150号の機能が進が従来の位置であるため、歩行室間の確保及び機性的な当該箇所での渋滞緩和の一助として から要望が強い。  しあわせ信相創鑑プラン における位置付け アギラス・投資で発音しやすいまたづくり 関連する事業、計画等 選学路及念の商品解 東本近及び西春近北小学校、春宮中学校 通学者 他 現公主教育・範囲 現の自動車交通量・17900合/日、現次交通量(歩行者・自転車が86人/12)  第7年程 平成27年 事業期間 5年間 5年間 7年度	事業毎の通番			8	市町	村名 伊邦	伊那市		箇所名(ふりがな)		沢渡(さわんど)		
日本学生   日本学生		業 られたが、国道153号の横断歩道が従来の位置であるため、歩行空間の確保及び慢性的な当該箇所での渋滞緩和の 日 沢渡交差点の改良が検討された。朝夕の通学・通勤時間では、国道153号を横断する歩行者・自転車が多く、地元及び								滞緩和の一	-助として		
報告 (保全対象・範囲 東春近及び西春近北小学校、春宮中学校 通学者 他 要定対象・範囲 現没自動車交通量:17:900合/日、現次交通量歩行者・自転車1564人/12h 財源内取(千円)				温ノフノ 第4章 4-2 県民生活の		県民生活の安全確保	の安全確保 押り					る法律	
要益対象・範囲 現況自動車交通量:17,900台/日、現況交通量(参行者・自転車)564人/12h		関連する事業、計画等			通学路緊急合同点検								
展	業												
一元		着手年度		平成	27年	事業期間	業期間 5年		間事業費		財源内訳(千円)		
日歩道橋詳細設計 1式		完成年度(見込み)		平成31年		費用対効果	-		(千円)	国庫	その他	県債	一般財源
(主な工種)   少道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される   京会輸送路、バス路線の整備   漢量的・定性的)   選行車両の交通事故抑制   公現況自動車交通量:17,900合/日   公要性   公現況自動車交通量:現況交通量(歩行者・自転車)殿島橋564人/12h   A   公開連計画、重点施策との整合:通学路緊急合同点検   評価   公果急輸送道路の路線指定:県緊急輸送道路(1次)に指定   A   公事業期間:5年間(H27~H31)   評価   公事業期間:5年間(H27~H31)   評価   公事業期間:5年間(H27~H31)   評価   公事業期間:5年間(H27~H31)   評価   公事業期間:5年間(H27~H31)   評価   公事業期間:5年間(H27~H31)   評価   公事業財務   公司学路対策:H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(大田切橋・沢渡交差点)   公理学路対策:H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(大田切橋・沢渡交差点)   公理学路対策:H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(大田切橋・沢渡交差点)   公事業情報の共有:関係者を中心に周知(H23.7地元説明)   企場の取り組み:協力的である   公地域の合意形成:合意形成が図られている   日本・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・		エドチネバカ		步道設置工 L=180m					300,000	180,000		108,000	12,000
(定量的・定性的)		十次 チネドカロ		自歩道橋詳細設計 1式					0	0		0	0
果 (定量的・定性的) 通行車両の交通事故抑制		業効			歩道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される								
必要性													
必要性		必要性		〇現況自動	○現況自動車交通量:17,900台/日								
重要性				〇現況自転車歩行者交通量: 現況交通量(歩行者・自転車)殿島橋564人/12h									А
国	f	重要性											評価
対象性				○緊急輸送道路の路線指定:県緊急輸送道路(1次)に指定									A
プラス カンダ	Ψ -			○事業期間:5年間(H27~H31)									評価
緊急性	西の児	効率性											С
緊急性	f			〇近年の3									
○現況の歩道幅員: 歩道なし  ○事業情報の共有: 関係者を中心に周知(H23.7地元説明) ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 合意形成が図られている ○住民との協働: 住民関与が低い(今後予定)  ○ 変通量、自転車・歩行者が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の先道整備が必要である。 ○ なまり、安全な歩行空間を確保するため、早期の先道整備が必要である。			77 A. Ld	〇通学路対策:H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(犬田切橋・沢渡交差点)									
計画熟度		<b>※</b> 忌吐		〇現況の歩道幅員: 歩道なし									Α
計画熟度				〇事業情報	〇事業情報の共有:関係者を中心に周知(H23.7地元説明)								
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		計画熟度		〇地域の耳	〇地域の取り組み:協力的である								
交通量、自転車・歩行者が多い通学路であ り、安全な歩行空間を確保するため、早期 の歩道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。 ・ジュ空間の確保と慢性的な渋滞 緩和を図ることから、必要性が 高く、重要性、緊急性が認められ				〇地域の合意形成: 合意形成が図られている									В
交通量、自転車・歩行者が多い通学路であ がままり、安全な歩行空間を確保するため、早期 の歩道整備が必要である。 の歩道整備が必要である。 の歩道整備が必要である。 の歩道整備が必要である。 の歩道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。 のよ道整備が必要である。				〇住民との協働:住民関与が低い(今後予定)									
************************************									歩道空間/	)確保と慢性的	#的な渋滞	評価結果	総合評価
	部意見			り、安全な歩行空間		確保するため、早期	行政改革	革課意見	緩和を図る 高く、重要	和を図ることから、必要性が 、、重要性、緊急性が認めら		0	A



【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)